

# 哲學研究

第四十卷 第十一册

第四百六十九號

昭和三十五年八月一日發行

史學研究會

「讀書人」身分の「教養」と「倫理」……………湯淺幸孫

— 中國文化の統一性の基礎 —

インド論理學の基本的性格(完)……………梶山雄一

フツサールのモノダ論……………水野和久

彙報

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委囑する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けな  
い 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入  
會することができる
- 一、會員は會費として年一、二二〇圓（會誌十二冊分  
を含む）を前納する
- 但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行  
事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

### 委員

本	武	松	蓮	野	西	長	土	棚	田	武	高	園	島	重	柿	大	臼	上	井	石	池	有
吉	藤	尾	實	田	谷	尾	岐	瀬	中	内	田	原	芳	澤	崎	峯	井	野	島	田	田	賀
良	一	義	重	又	啓	雅	邦	襄	知	義	三	太	俊	祐	二	照	尚	夫	勉	仁	祐	太
治	雄	海	康	夫	治	人	夫	爾	郎	範	郎	郎	夫	郎	一	顯	尚	夫	勉	仁	祐	郎

中祖一誠 ウパニシアッドに於ける個人的主體原理について

心理學專攻

池田 進 二刺激比較法による見えの距離の測定の問題

鳥居直隆 感性過程に於ける交互作用について

岨中 達 認知の發達心理學的研究

美學美術史專攻

鈴木健二 北方に於ける近世繪畫の成立過程に關する一考察

新田博衛 作品の觀照

社會學專攻

會田 彰 勞働組合の指導構造

——組合の官僚制の一分析——

口羽益生 未開社會における秩序と統制

高島昌二 プレッシュャー・グループスに關する諸問題

宗教學專攻

河波 昌 シェリング積極哲學の成立の基礎と „Vernunft“

の意義について

松塚豊成 カント宗教哲學に關する一考察

——特に惡の問題について——

松山康國 無底と惡

前 號 目 次

新着外國雜誌所載論文一覽

インド論理學の基本的性格……………梶山雄一

知ることと認めること(未完)……………森口美都男

必然ということ……………種山恭子

——テマイオス解釋の一斷面——

次 號 論 文 豫 告

結 合 點……………植田壽藏

——目の寄り合う場所——

原初期ギリシヤとハイデッガー……………田中加夫

目的論的人間の定位……………鹿毛誠一

# 京都哲學會公開講演會豫告

日時 十一月十二日(土) 午後一時半  
場所 京都大學文學部第一教室

一、題未定……………京都大學教授 蓮 實 重 康

一、題未定……………京都大學助教授 武 藤 一 雄

☆ 右終了後樂友會館において懇談晚餐會を開きます。(會費約五〇〇圓)

☆ 所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京大文學部宗教學研究室まで御申出下さい。

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、二二〇圓又は半年六一〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番創文社）宛に願います  
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい、（一年分又は半年分）會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい  
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和三十五年七月三十日印刷  
昭和三十五年八月一日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會  
京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

土 岐 邦 夫

發 行 人

久 保 井 理 津 男  
東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

印 刷 人

堀 内 文 治 郎  
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

印 刷 所

堀 内 印 刷 所

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二  
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番  
電 話 九 ノ 内 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、定價一  
二〇圓、送料・八圓）前金にてお送り下さい

昭和  
三十五  
年  
八月  
三十  
日  
發  
行  
（每  
月  
一  
行  
回）

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XL

August, 1960

No. 11

---

---

*The Education and Ethics of the Chinese Literati* ...Yukihiko Yuasa

*Fundamental Characteristics of Indian Logic* (II) ...Yuichi Kajiyama

*Die Konstitution der Monaden in Husserlscher*

*Phänomenologie* .....Kazuhisa Mizuno

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定  
價  
一  
二  
〇  
圓

IMB 6427